



指導法 / 教材・教具の工夫

～可能性を追求するために～

Ver.4



令和2年度全国公開研究会
東京都立光明学園

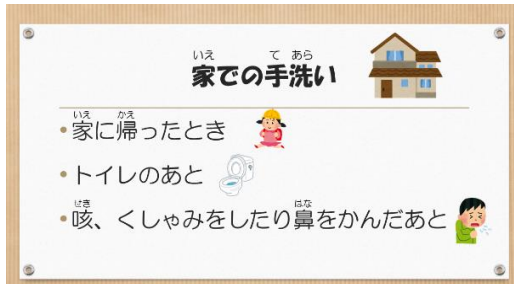
R 2 年度 教材教具・指導事例集 目次

6 その他の教材

6-1	オンラインで手洗い指導	両部門養護教諭	全学部
6-2	Everyday あわわてあらい	両部門養護教諭	全学部
6-3	かお・顔！発見！！	病院訪問	中学部
6-4	視覚情報の提示で理解力アップ！	病院訪問	中学部
6-5	～しているのは「だれ」	病院訪問	高等部
6-6	五音音階を利用して曲作りに挑戦	そよかぜ分教室	中学部
6-7	即興スピーチ@オンライン	そよかぜ分教室	中学部
6-8	光に魅せられて ゴッホ「種をまく人」を觀賞しよう	そよかぜ分教室	中学部
6-9	太陽系の惑星	そよかぜ分教室	中学部
6-10	めざせ「自立男子」！	寄宿舎	高等部

オンラインで手洗い指導

～この場所しっかり洗ってね～



対象となる児童・生徒

両部門 全学部

(全学習グループ)

全ての教育課程

自分で手を洗うことが難しい児童・生徒から1人で洗うことができる児童・生徒もあり、実態は様々です。

ねらい

正しい手洗いができるようになる。また洗い残しが多い場所を視覚的に訴えることで、意識することができるようにする。

ポイント

オンライン授業にて全校の児童・生徒へ配信しました。手洗いが難しい児童・生徒へは、ウエットティッシュでの拭き取りなどを案内しました。

教材の使い方、指導の実践例など



ウイルスのイラストは

動かすことができます。

「洗い残しはどこが多いかな？」という問いかけをしながら「指の間」「つめ」「手首」「手のしわ」などにウイルスのイラストを貼り、洗い残しが多い場所を視覚的に伝えました。

Everyday あわわてあらい

～6このポーズで「てあらい マスター」～



対象となる児童・生徒

両 部門 全 学部

(学習グループ)

全ての 教育課程

廊下を通る際に、興味を持つ児童生徒がいました。

ねらい

手洗いは感染予防に効果的であることから、今一度正しい手の洗い方を確認してもらいたいと思い保健室前に掲示しました。

ポイント

- ・手洗いチェッカーを使用し、手についた汚れに見える化しました。
- ・手洗いの歌に合わせ、手洗いのポイントを掲示しました。

教材の使い方、指導の実践例など

- ・今年度は、新型コロナウイルスの流行により、手洗いの集団指導などはできませんでした。ですが、正しい手洗いの方法を掲示することにより、児童生徒だけでなく、教職員にも再確認して頂けたらと思いました。
- ・直接指導できないため、写真を使い分かりやすくしました。

かお・カオ・顔！ 発見！！

～見方を変えて～

対象となる児童・生徒

両部門 全 学部

(全学習グループ)

全ての教育課程

児童・生徒の実態に応じて楽しく制作できる教材。発達段階によりねらいを変えて部門や学部に関わらず全ての児童・生徒が取り組める。

ねらい

A：日常に見慣れた場所や物の見方を変えることにより新たな発見を楽しみ、想像力を豊かにする。

B：日常の使用教材等を使っての「顔」作りを通して、見立てる力を伸ばす。

ポイント

【二通りの取組方法】

A：窓の外や日常に見かけるものから「顔」に見えるものを見つける。

B：いつも使っている教材などを並べて「顔」作りをする。



【写真】病院訪問小・中学部 及び 東京都現代美術館連携授業による実践

教材の使い方、指導の実践例など

参考 * 映像メディア学会誌vol.62.Ns12(2008)大塚、仲渡、山口

A：例えばコンセントの差込口をひっくり返してみると「あぜん…」とした表情の人々が見えてくる。日常の何気ないものを意識して見ることで、新たな発見がある。見つけた顔がどんな表情なのか、セリフを考えて発表したり、展示したりするのも楽しい。



準ずる教育過程 中学部3年 作品(無菌室での発見例)

授業者:アントニス



あぜん…



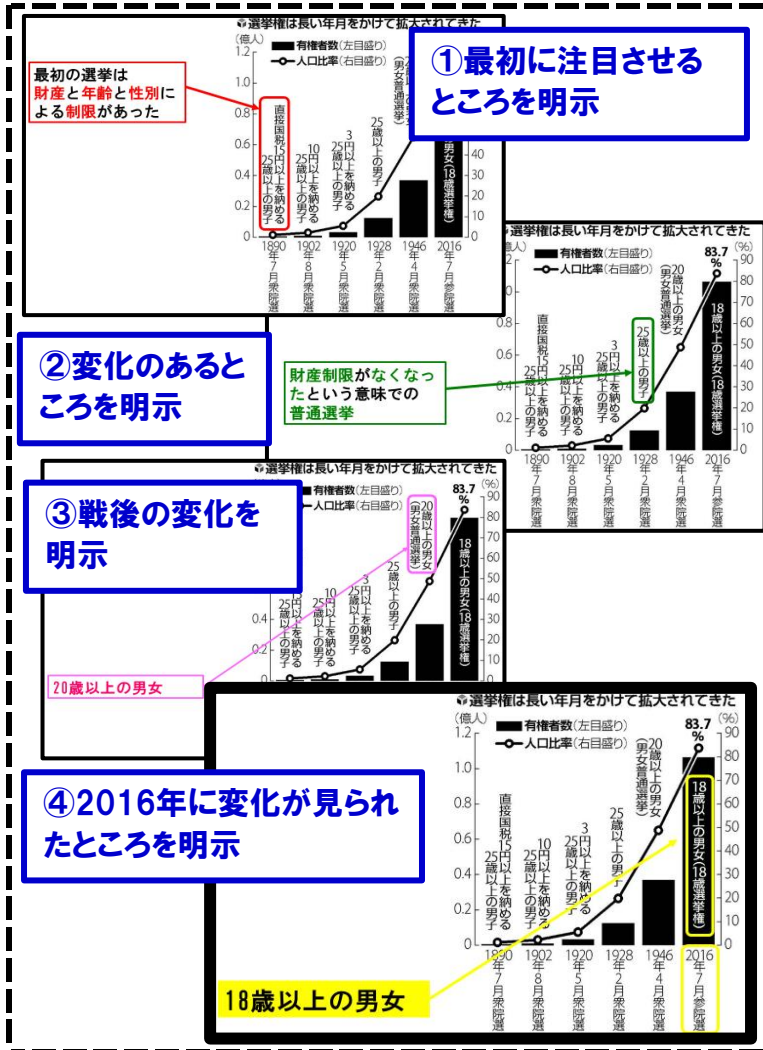
タンパリンにペグを使って「顔」にしたらピエロみたいな顔に見えたよ！

B：新生児は生後数日で母の顔を認知する能力を有し、顔模式図形は選好注視を引き起こす*。使い慣れた教具などを並べる「顔」作りを通して注視力や手指をコントロールする巧緻性を高めたり、色や形の弁別など様々な認知力向上を図る学習活動の取組に活用できる。

知的障害を併せ有する教育過程 小学部6年作品(色や形に意識が向いた実践例):授業者 矢下容子教諭

視覚情報の提示で理解力アップ！

～タブレット端末(パワーポイント)の活用～



対象となる児童・生徒

B 部門 中高 学部

(学習グループ)

準ずる 教育課程

文字を反転させて太字ゴシックにしているので見やすい。また、再度内容を確認したり、プリントを書いたりするときにスライドを使って内容を確認できるので良い。

ねらい

- ・スライドのアニメーション効果を使い、注視させたり、変化に気づかせたりする。
- ・スライドの提示を行うことで、言語による説明を補い、視覚情報も使って生徒が理解しやすいようにする。

ポイント

- ・板書が難しい病室内でも、スライドを提示して説明ができる。また、スライドに通し番号をつけることで、振り返りやすい。
- ・アニメーションを適時取り入れ、1枚のスライドに情報を盛り込みすぎない。

教材の使い方、指導の実践例など

【スライドの使い方】

- ・授業の流れに沿ってスライドを提示する。
- ・資料の読解や時代の変化などアニメーション効果を使い注目させる。
- ・板書にかかる時間を短縮でき、板書の代わりとしても活用できる。補足説明をする場合や内容を確認したい場合などは、スライドにふった通し番号をたどってそのスライドに戻り、視覚的にも確認することができる。

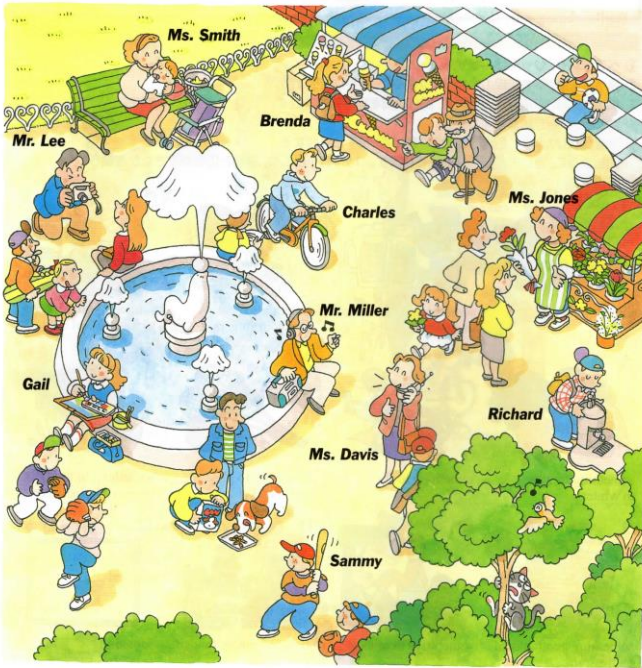
~しているのは「だれ」 ~現在進行形について学ぼう~

30 Sammy is the boy playing baseball.

A : Which person is Sammy?
B : Sammy is the boy playing baseball.
A : You got it!



●下の絵を1分間じっと見てから本を閉じる。ペアになり、モデル・ダイアログにならって、絵の中の人物について対話しよう。いくつ覚えているかな？



対象となる児童・生徒

B 部門 中 学部

(学習グループ)

準ずる 教育課程

中学2年の生徒です。1年生の復習を中心に授業を行っています。

ねらい

日本語を使わずに、英語だけで現在進行形を楽しく理解させる。
英語がポジティブなイメージになるように授業を行う。

ポイント

- ・ゲーム形式で楽しく学習できる。
- ・文法用語を使わない。
- ・スピーキング中心で飽きない。
- ・4技能をバランスよく学べる。

教材の使い方、指導の実践例など

Quiz time...

Listening,
Speaking

The man playing baseball is ~と言って、絵の中にある登場人物の名前を答えさせる。

ここではSammyが答えである。(現在分詞)

その後Sammy is playing baseball.の現在進行形に言い直させる。

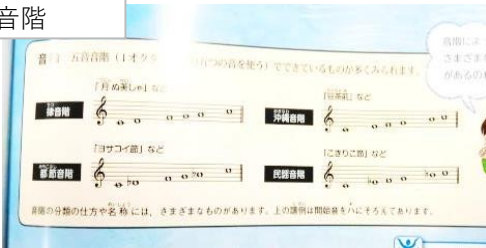
※とにかく楽しく競争し合いながら学ぶことができるように配慮したい。

Reading, Writing...

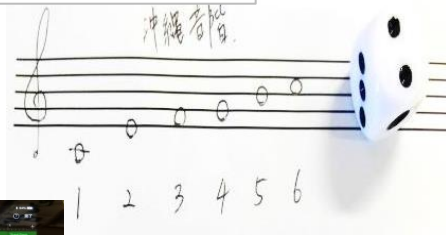
上記の内容を読ませる。上記の内容を書かせる。

～五音音階を利用して曲作りに挑戦～

教科書の音階



使用する音階とサイコロの目対応表



IPAD打ち込みリズム以外の画面

リズム録音時の画面



対象となる児童・生徒

B 部門 中 学部

(教科学習グループ)

準ずる 教育課程

B部門準ずる課程での取り組みです。五音音階の学習は中学1年生の教科書で取り扱っています。ゲームをするかのように取り組む生徒もいます。

ねらい

- ・五音音階の特徴を知る。
- ・日本の伝統的な音楽に親しむ。

ポイント

準ずる課程の生徒にも基本的にはサイコロを使用しますが、自分で音列を作りたい生徒の場合は自由に並べさせてもよいです。

教材の使い方、指導の実践例など

- ①教科書に載っているそれぞれの音階(律音階、都節音階、民謡音階、沖縄音階)と音階を使った特徴的なメロディーを聞かせて音階を選びます。この際、それぞれの音階を使用した有名な曲も一緒に聴かせるとよいです。
- ②音階が決まったらサイコロを振り、「使用する音階サイコロの目対応表」に従って音列を作ります。この際、サイコロの目によっては音階の特徴が出なかったり同じ音が続いてしまったりしてしまう場合がありますので、完成曲の小節数より多めに音列を作り、良いメロディーの所を切り取って使用したり、生徒の実態によってはどの音を抜いたり足したりすると、より音階の特徴が活かされたメロディーになるかを考えたりしながらメロディーを完成させます。最初の音や最後の音を決めておくのも一つの手です。
- ③音列が完成したらメロディーのリズムを考えます。
- ④完成したメロディーに合うコード(伴奏)を付けることはさすがに難しいので教員がコード(伴奏)を付けて、完成したメロディーを伴奏つきで聴きます。
- ⑤その後、IPADに打ち込み作業をします。生徒の実態に合わせて完成したメロディー、ハーモニー、ベース音やリズムなど出来るものを入れていきます。リズムはドラムセットの画面を用意すれば曲に合わせて録音するだけなので音楽や電子機器が苦手な生徒も楽しんで音を加えることができます。
- ⑥生徒ができる範囲で音を重ねられたら完成です。

即興スピーチ@オンライン ～スピーチでつながろう～

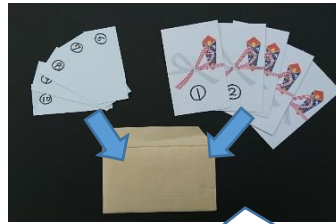
<準備その1>

・スピーチのテーマを紙に一つずつ書き、封筒一つずつ入れ、袋に番号をつける。
(参加する人数分用意する。)



<準備その2>

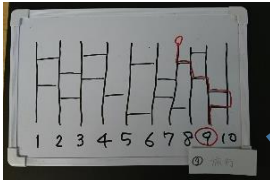
・生徒用のテーマを書く紙に番号をふる。



<準備その3>

・テーマが入った袋、生徒用の紙、それらを封筒に入れる。

テーマは、
あみだくじで決めました。



生徒が書いたテーマ「旅行」

渡すときに、ひとつの封筒に入れた。楽しそうな表情で開けていた。ポチ袋もウケた。

即興スピーチのルール

- 1 最初のテーマを読み上げよう。「テーマは ○○ です」
- 2 テーマにあて、自分の体験や考えを話そう。
- 3 1分間、とにかく話し続けよう。
- 4 聞く人はうなずいたり、あいづちをうて、話す人を応援しよう。

対象となる児童・生徒

B 部門 中高 学部

(学習グループ)

準ずる 教育課程

- ・みんなの前で話すことが恥ずかしい。
- ・何を話していいのかわからない。
- ・オンライン授業でみんなに会えない。

ねらい

- ・みんなの前で話す
- ・その場で自分の考えをまとめて話す力をつける。
- ・話を聞く態度や力をつける。

ポイント

- ・紙と封筒(なんでもOK)、鉛筆があれば、どこでも、いつでもできる。
- ・ゲーム的要素を入れて、楽しく!
- ・友達のことを知るきっかけにもなる。

教材の使い方、指導の実践例など


- ①生徒に、準備3の封筒を渡す。「即興スピーチを行います。話す時間は1分間です。」
ルールをホワイトボードに書いて見せる。準備1で用意した封筒から一つ選び、テーマを読み上げてもらう。教員が見本として1分スピーチを行う。時間はストップウォッチあるいはタイマーで。
 - ②各自、スピーチのテーマを書く。(人数が多い場合は一人1つ、少ない場合は、3～5つ位。)
番号が重ならないように、渡す紙には、番号をふっておく。教員が書いたテーマが1～5、Aさんは6～8、Bさんは9～12など。
 - ③話す順番を決める。テーマは、くじびきで決める。みんなの書いたテーマ、教員があらかじめ書いてあったテーマの中から、何が当たるかわからない。ドキドキ感!
 - ④スピーチスタート。話す人は、1分間、黙らずに話し続ける。聞く人は、うなずいたり、「そうなんだ」など相槌をうって応援する。
- ★慣れてきたら・・・リレースピーチへ、ステップアップ。
一つのテーマで、1分間スピーチをリレーする。前の人の話を聞いて、その続きを自分なりに考えて1分間話す。全員が終わるまでスピーチをつなげていく。
※振り返りシートには、「1分間は思ったより短かった」「リレースピーチの方がおもしろい。友達とやりたい」などの意見がありました。

光に魅せられて ゴッホ「種まく人」を鑑賞しよう

美術 ワークシート 教科書 p 3 参照

光に魅せられて ゴッホ「種まく人」を鑑賞しよう

年 氏名



「種まく人」
油彩・キャンバス 64.2×80.3cm
1888年
フィンセント・ファン・ゴッホ
オランダ 1853~90

(1)描かれている風景や人物の様子（服装、ポーズなど）を、ありのままに書いてみましょう。

(風景) 麦畑が広がる。太陽高、小屋、山、木々

(人物) 右手をふるっている。右足を出している。リュックを
かかっている。ほろほろと泣いている。よくかきまわす

(2)絵の中の人物になったつもりで、絵の中の出来事を書いてみましょう。

一人で畑に一人でいる。たまたまきまわしている
田舎で、一人だけさみしい
この麦をまいて、育てる人はいるのだろうか
それでもたまたま
とつぶやいている

(3)作者は太陽光を鮮やかな色彩と力強いタッチで描いています。光の表現についてあなたの考えを
書いてみましょう。

まぶしくて目があけられなくて、ほろほろと泣いて

対象となる児童・生徒

B 部門 中 学部

(学習グループ)

準ずる 教育課程

中学部2年の男子生徒である。通級学級に在籍している。書字は苦手だが、造形感覚に優れている。

ねらい

- ① 絵画を探索的に見る。
- ② 観察した事象から考える。
- ③ 思考したことを、話す、書くなどして言葉にする。

ポイント

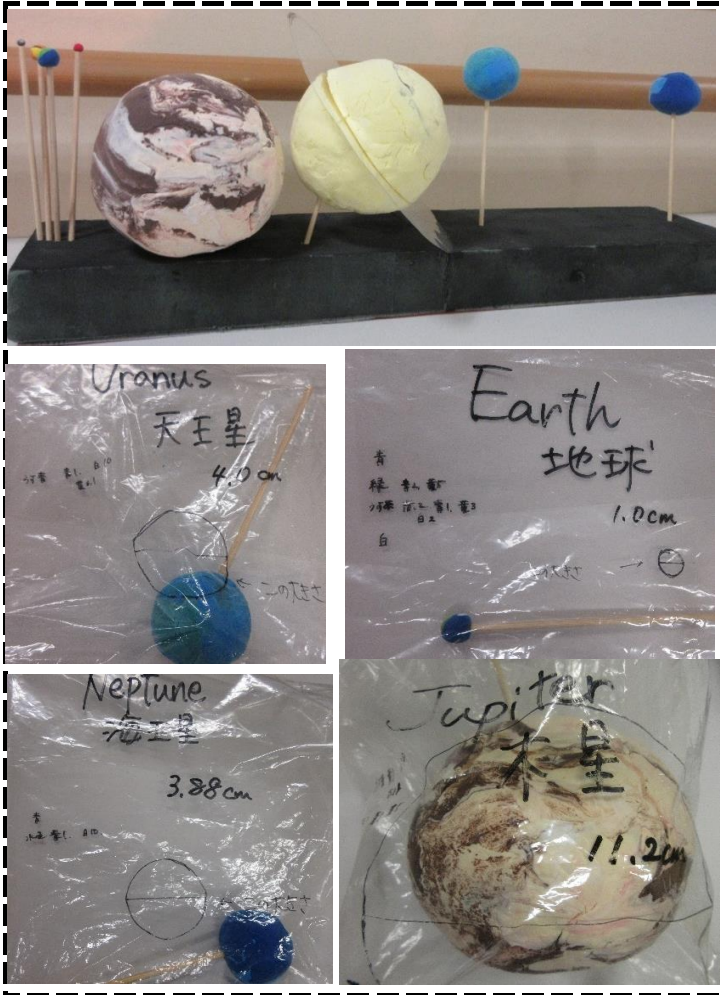
- ・ただ漠然と絵を見るのではなく鑑賞のしかたを身につけられる。
- ・発表が苦手な生徒でも、自分の考えを発言できる。

教材の使い方、指導の実践例など

- ・絵画を探索的に鑑賞することは、観察力思考力発言力を育てるよい機会となる。
- ・中1の美術の鑑賞授業にて使用したが、小学生から高校生まで幅広く使える。
- ・まずは「絵の中に何が描かれてあるか」に注目させる。細部までじっくりと観察し、感想ではなく、事象をありのままに言葉で表現する。
- ・問いかけは「何が見えますか?」「絵の中で何が起こっていますか?」「吹き出しがあると仮定して…何と言っていますか?」などとする。
- ・ゴッホ「種まく人」であれば、「麦畑の中に入っていく」と仮定して、光や風、気温や湿度などを感じとらせる。風景が人物の心象をあらわしていることに気づく。
- ・生徒が発言したことに「どうしてそう思ったの?」と聞くことで思考が深まる。
- ・生徒の発言に対して、どの発言も肯定的にとらえることで、発言が広がる。

太陽系の惑星

～ それぞれの大きさと太陽からの距離の比較 ～



対象となる児童・生徒

B 部門 小中 学部

(学習グループ)

準ずる 教育課程

長文を書くことは難しく、起き上がっていることが難しい。寝たまま授業を行うことが基本となっている。入院中に、少し認知面での低下がみられた。

ねらい

地球を1cmとしたときの太陽系の惑星の大きさの比較と太陽からの距離の比率を理解する。

ポイント

- ・地球の直径を1cm(12億8000万分の1)としたとき、そのほかの惑星の大きさを同様に縮小したときの大きさの違い。
- ・地球の太陽からの距離を1cm(14兆9600億分の1)としたときに、それぞれの惑星の太陽からの距離を表している。

教材の使い方、指導の実践例など

天体の単元については、惑星や恒星、衛星等、大きすぎて実際に見ることができない。そのため、なかなか捉えることが難しい。可視化することで、全体的な太陽系の惑星の大きさやそれぞれの太陽からの距離の比率が理解できる。生徒と共に、制作を行う授業展開の様子である。まずは、1時限目に、資料と塗り絵を用いて惑星の色を確認した。2時限目に、生徒と確認した色の軽粘土を用いて、太陽系の惑星8個の模型作りを行なった。今回の授業は、オンラインでの授業であったため、どこまでを生徒の活動とするかが難しかった。本人ができる活動を考え、それぞれの惑星ごとにビニール袋を用意した。材料を中に入れ、ビニールの表面に作りたい球の大きさを記入しておき、それに合わせて生徒に作らせた。模型を見ただけで、それぞれの惑星の大きさの違いや距離の比率がわかるので、理解がしやすくなった。また、作成で用いた素材を変えるなど教材の作り方を工夫すれば、目的に応じて教材を使い分けることができると考える。

めざせ「自立男子」! ～輝く未来の生活をめざして～

自立って何だろう?

①日常生活の自立

- ・自分のことを自分で行う、身の回りの整理整頓
- 身だしなみ、体の清潔、健康管理 など

②社会生活の自立

- ・自分の役割をきちんと行う、地域の人や職場の人とうまく付き合う
- 人の意見を参考に、自己を振り返り工夫や改善をする(自己を高める)
- 互いに認め合う など

③経済的な自立

- ・金銭管理、働いて生計を立てる、人生設計 など

これらのことを念頭において生活してみましょう!



<資料1>

対象となる児童・生徒

B 部門 高等部
3年生

準ずる教育課程

- ・基本的生活習慣がほぼ自立している生徒。
- ・男女を問わず指導可能。

<資料2>

おはよう! 月 日 ~ 月 日

めざせ自立男子!

<目的> ~将来に向けて~
①日常生活の工夫と改善
②苦手なことの理解と克服
③よりよい人間関係の構築

ファイト!

チェック項目	自己評価					積極的にやったこと 難しかったこと なぜできなかったか など
	月	火	水	木	金	
身の回りの整理整頓						
洗濯 洗濯物の片付け						
あいさつ						
適度な運動						
健康カードへの記入						

以下は自分で考えてみましょう
<卒業に向けて> ~参考にしてみてください~
部屋掃除、食器洗い、トイレ掃除、洗濯機や乾燥機の掃除、メモを取る、予定表の活用
社会人としての会話、相談できる人を見つける 新たな趣味を見つける など

※自己評価方法
A-よくできた
B-ふつう
C-あまりできなかった

※月~木は就寝前、
金は帰省前に記入

ねらい

- ・日常生活での工夫と改善
- ・苦手なことの把握と克服
- ・よりよい人間関係の構築

ポイント

- ・資料1は、対象生徒の実態に即して、自立に向けて必要な力を記載した。
- ・資料2は、確実にできる内容も入れることで、意欲的に行えるようにした。また、空欄に自分で身に付けたい力を記入することで、より主体的に取り組めるようにした。

教材の使い方、指導の実践例など

学期始め

- ①資料1を提示して、得意なこと・苦手なこと・将来身に付けたい力は何かを一緒に考える。

毎日

- ②日常生活の中で、職員の言葉掛けを無くして、自分で考えて行動する場面を多くする。
- ③1日1回、チェックリストを基に自分自身で振り返りをする。

1~2週間ごと

- ④チェックリストを基に職員と振り返りをし、必要に応じてリストの項目を変更し、レベルアップを図る。